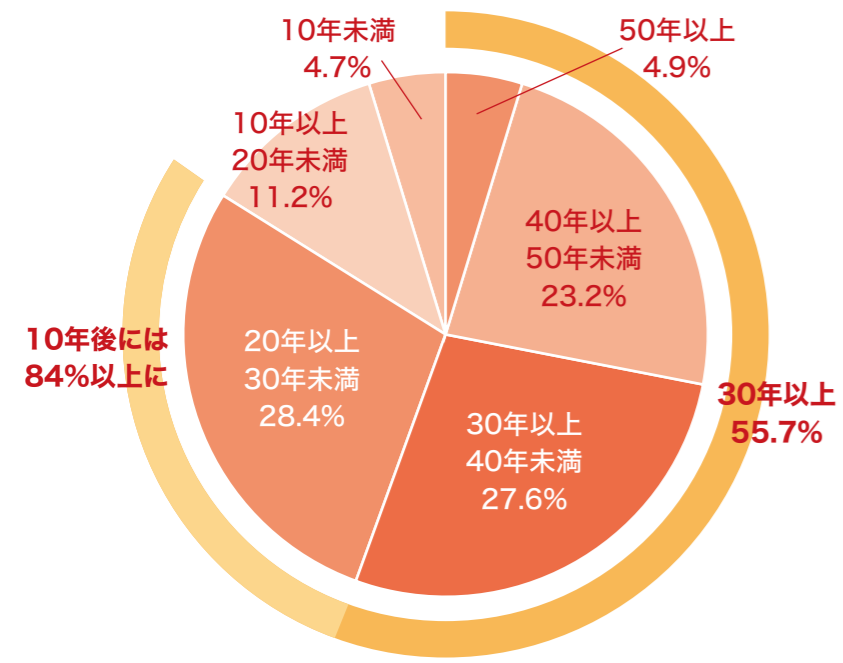


グラフ3 築年数別の延床面積の割合



◆10年後には、約8割が築30年以上に

10年後には、約8割が築30年以上に  
す。今回は12月号に掲載予定です。

三木市では、大規模改修の必要性が高い「築30年以上」の施設が全体の56%を占めています。また、10年後には全体の8割以上を占めることになり(グラフ3)、今後、これらの大規模改修や建替え時期が一斉に到来します。このまま全ての施設を維持・更新すれば多額の費用が一斉に必要となります。

施設の維持の負担が大きくなる  
と、本間に必要な市民サービスに  
影響が出かねません。  
この課題に対応するため、必要  
な施設機能は維持しつつ、人口規  
模に合った施設量に見直す必要が  
あることから、公共施設の再配置  
計画の策定に取り組んでいます。

一斉に更新時期を迎えます

人口規模に合った施設量に

シリーズ  
次世代のために考える  
公共施設

～①一斉に更新時期がやってくる!～

211施設、32.7万平方メートル。  
これは三木市が保有する公共施設(ハコモノ)  
の数と、総延床面積です。  
人口減少、少子・高齢化や厳しい財政状況が  
予測される今、公共施設の在り方は、大きな転  
換期を迎えています。

問(市)財政課 公共施設マネジメント係

公共施設の現状と課題

全国の自治体が公共施設の  
更新問題への対応を迫られて  
います。

理由は、高度経済成長期に  
集中的に整備された学校、集  
会施設、公営住宅などの多く  
の施設が、今後一斉に老朽化  
し、更新(大規模改修や建替  
えなど)に多額の費用が必要  
となり、自治体の財政運営上  
大きな課題となることが見込  
まれているからです。

三木市の状況  
人口は減、施設は増

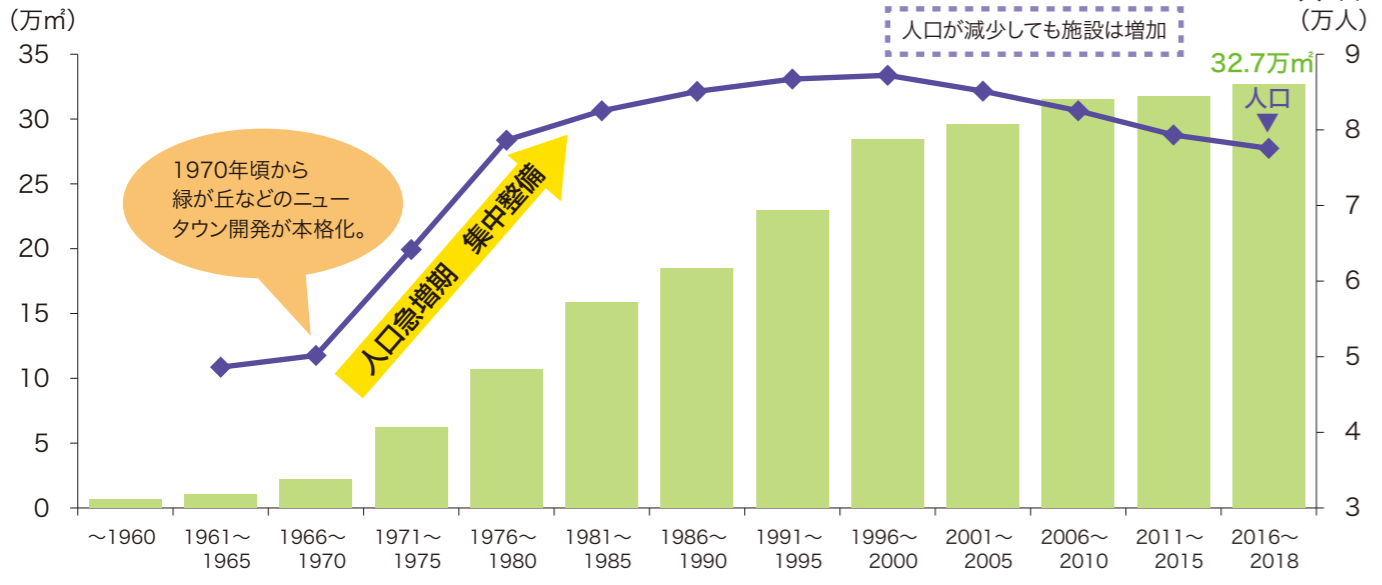
三木市も1970年代  
1980年代にかけて緑が丘  
などのニュータウン開発によ  
り急激に人口が増加し、学  
校、集会施設などの公共施設  
を集中的に整備してきました  
(グラフ1)。

主な公共施設の延床面積の割合

施設種別	割合
学校	41.6%
公民館や文化会館	11.7%
公営住宅	9.7%
体育館や福祉施設など	37.0%

1997年の88,232  
人をピークに人口は減少に転  
じましたが、施設はその後も  
増加し、現在、211施設、  
総延床面積は約32.7万㎡  
(市民一人あたり4.2㎡)  
となっています(グラフ2)。

グラフ2 施設の累計面積(5年毎総延床面積)と人口の推移



グラフ1 施設の整備面積(5年毎)と人口の推移 ※大規模改修は築後30年、建替えは60年が目安

